**【参考資料】教育的ニーズを整理するための調査事項の例（自閉症）**Word版

　以下の資料は、自閉症のある子どもの教育的ニーズを整理するための三つの観点を踏まえて調査票の参考例として調査事項等を示したものである。

|  |
| --- |
| **１　自閉症のある子どもの教育的ニーズについて～教育的ニーズを整理するための観点～****①　自閉症の状態等の把握** |
| 視　点 | 事　　項 | 記　　録 |
| 医学的側面 | 障がいに関する基礎的な情報の把握 |  |
| 既往・生育歴 |  |
| 幼児期の発達状況 |  |
| 併存している障害の有無 |  |
| 服薬治療の有無 |  |
| 心理学的教育的側面 | 発達の状態等に関すること |  |
| 生活リズムの形成 |  |
| 基本的な生活習慣の形成 |  |
| 活動に対する状況 |  |
| 意思の伝達能力と手段 |  |
| 知能の発達 |  |
| 情緒の安定 |  |
| 本人の障がいの状態等に関すること |  |
| 感覚や認知の特性 |  |
| 障害による学習上又は生活上の困難を改善するために、工夫し、自分の可能性を生かす能力 |  |
| 学習の状況 |  |
| 自己理解の状況 |  |
| 諸検査等の実施 |  |
| 行動観察 |  |
| 検査の結果 |  |
| 認定こども園・幼稚園・保育所、児童発達支援施設等からの情報の把握 |  |
| 学校での集団生活に向けた情報 |  |
| 成長過程 |  |
| **②　自閉症のある子どもに対する特別な指導内容** |
| 他者との関わりの基礎に関すること |  |
| 情緒の安定に関すること |  |
| 状況の理解と変化への対応に関すること |  |
| 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること |  |
| 感覚調整の補助及び代行手段の活用に関すること |  |
| 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること |  |
| 他者の意図や感情の理解に関すること |  |
| 生活習慣の形成に関すること |  |
| **③　自閉症のある子どもの教育における合理的配慮を含む必要な支援の内容** |
| ア　教育内容・方法 | （ア）教育内容 |  |
| 　ａ　学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮 |  |
| 　ｂ　学習内容の変更・調整 |  |
| （イ）教育方法 |  |
| 　ａ　情報・コミュニケーション及び教材の配慮 |  |
| 　ｂ　学習機会や体験の確保 |  |
| 　ｃ　心理面・健康面の配慮 |  |
| イ　支援体制 | (ア)専門性のある指導体制の整備 |  |
| (イ)子ども、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮 |  |
| (ウ)災害等の支援体制の整備 |  |
| ウ　施設・設備 | (ア)校内環境のバリアフリー化 |  |
| (イ)発達、障がいの状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮 |  |
| (ウ)災害等への対応に必要な施設・設備の配慮 |  |

|  |
| --- |
| **２　学校や学びの場について** |
| 設置者の受け入れ体制 | 小・中学校の状況 |  |
| 本人・保護者の希望 | 希望する学校、教育の場 |  |
| 希望する通学方法 |  |

|  |
| --- |
| **３　その他** |
| 併せ有する他の障がいの有無と障がい種 |  |
|  |  |

参考・引用：文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「障害のある子供のための教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（令和3年6月）